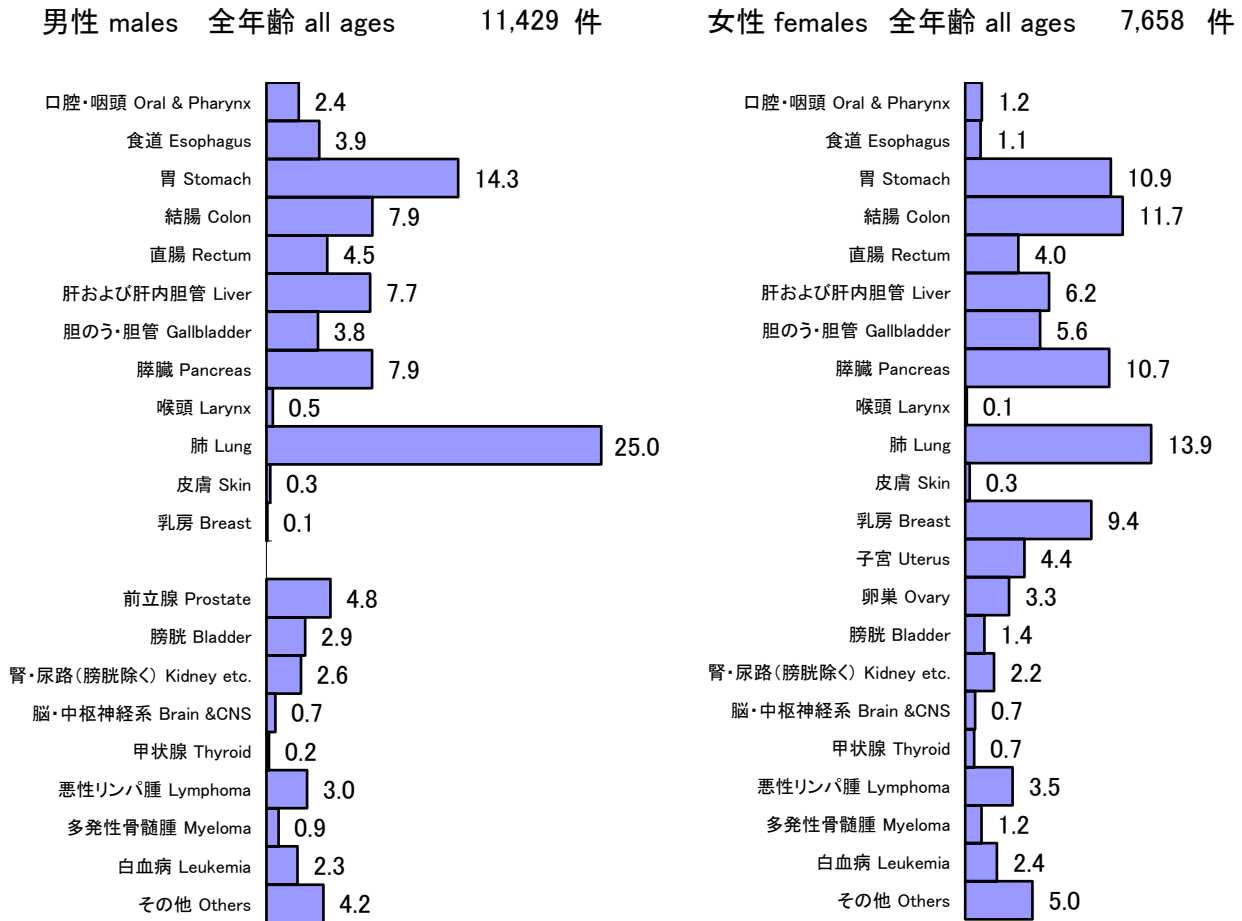


3. 死亡の状況 Cancer Death in 2016

人口動態統計によると、2016年1月1日から12月31日の1年間に、愛知県在住者では、男性11,429人、女性7,658人、合計19,087人の方が、がんを原因として死亡された。部位別では、男性で最も死亡数の多い部位は肺であり、胃、同率で結腸、膵臓と続く。女性では、肺が最も多く、結腸、胃、膵臓と続く。罹患率と比べると、男性の前立腺がんや女性の乳がんは、罹患率が比較的高かったが、死因としてそれほど多くないことがわかる(図9)。

図9 部位内訳(%) (表9から作成) Figure9 Percentage of Cancer Death by site



年齢別にみたがんの死亡 Age-Specific Cancer death

男女ともに、愛知県で2016年にがんで死亡された方の約85%が65歳以上の方であった。ほとんど全ての部位のがんは、年齢が高くなるほどかかりやすくなるため、がんによる死亡者も高齢者が多い(図10)。

40-54歳のがんによる死亡は、男性では肺がん、女性では乳がんが多い。39歳以下のがんによる死亡は、男性では胃がん、白血病、女性では乳がんが多い。

主ながんの年齢階級別死亡率をみると、胃がんは男性の70歳以上、女性の85歳以上、結腸がんは男性の75歳以上と女性の80歳以上、肺がんは男性の65歳以上と女性の80歳以上において、それぞれ千人に1人以上の死因となっている(図11)。

図10 年齢別内訳(%) (表10から作成)

Figure 10 Number and Percentage of Cancer death cases

年齢階層 Age group	14歳以下	15-39歳	40-64歳	65-74歳	75歳以上	合計
男性 Males	3	74	1,464	3,539	6,349	11,429
女性 Females	6	99	1,146	1,759	4,648	7,658

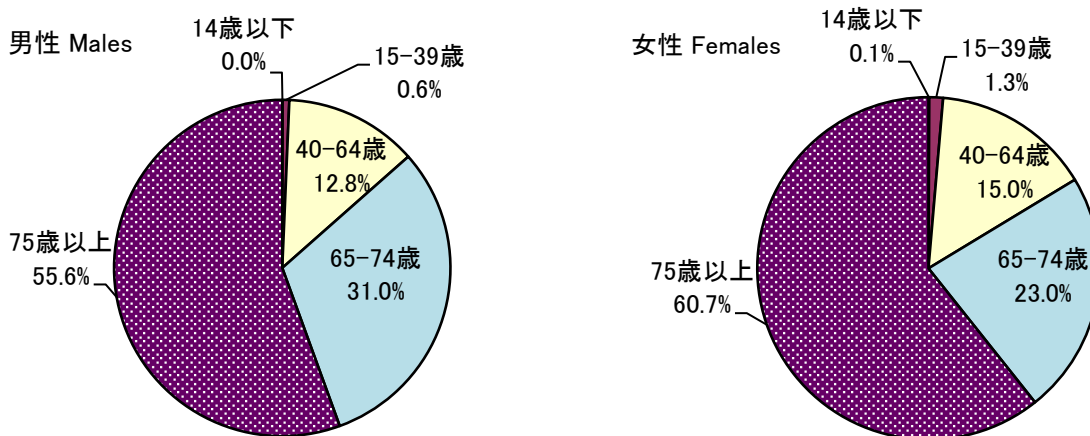


図11 部位別年齢階級別死亡率:人口10万対 (表11から作成)

Figure 11 Age-Specific Death Rates by Cancer site

